

# エンパワーメント情報学プログラム

Ph.D. Program in Empowerment Informatics

人の機能を補完し、  
人とともに協調し、  
人の機能を拡張する情報学

修了生のキャリアパス  
「人の補完×協調×拡張」の融合業界

医療福祉介護産業、先進自動車産業、  
スマート家電産業、クリエイティブインダストリ、等

科研費細目表における学術的位置付け  
[系] 総合系 [分野] 情報学 [細目] 人間情報学

「人間情報学」を軸に、芸術、医学、ビジネス、  
科学にまたがる総合領域  
(つくば型の人間情報学)

## グローバル教育院

- 全学教育機構による運用  
分野毎の専攻でなく  
学位主体の教育システムへ

### グローバル人材養成

- 目に見える付加価値の提供
- 国際コンテスト等の  
アウェイゲームを戦える強さ
- 12名の少数精鋭による競争環境

人をエンパワーするシステムを  
デザインできる人材の養成

### 学位取得

博士(人間情報学)



### 学位論文審査

4 5 D

3本柱の  
交差と融合

研究力

### 出口を見据えた 3本柱

#### 補完

身体・感覚機能の補助

#### 協調

工学システムとの一体化

#### 拡張

クリエイション機能の外在化

### エンパワーメント情報学の 3要素

#### コンテンツ要素

インタラクション・デザイン

#### システム要素

センシングと感覚提示

#### ユーザ要素

人の特性の理解

エンパワー  
寮制度

【切磋琢磨の日常化】  
寮でのワークの単位化

### 分野横断コースワーク

### 高度専門科目(ビジネス・芸術・医学)

コースワークと高度専門分野の連携  
による分野横断的研究力の育成

現場力と魅せ方力、リーダーシップを  
身につける実践的研究力の育成

高度な研究力を備えた  
グローバルリーダー育成

1年次

2年次

3年次

4年次

5年次

### エンパワーメント・グローバルアライアンス

(UCLA、エジンバラ、デルフト等)

- ・ 海外合宿制入試
- ・ エンジニアリングレジデンス実習、  
コラボラトリ実習の海外実施
- ・ グローバル企業への就職

### 異分野複合研究チーム指導体制

- ・ 「補完」「協調」「拡張」いずれか1つの領域から  
の主任指導教員、その他の2つの領域からそれ  
ぞれ副指導教員が1名ずつの計3名による指導
- ・ 芸術系、ビジネスサイエンス系、医学系、  
産業界からの教員によるアドバイザーチーム

### 社会からの要請

- ・ 「人をエンパワーするシステム」を  
創出できる人材の養成が必要不可欠
- ・ 第4期科学技術基本計画の重要課題

### 学位の質を保証するための審査

A	博士論文研究 基礎力審査	博士論文研究に必要な 基礎力
B	第1段 達成度審査	深い専門性と学際性を有する 分野横断研究力
C	第2段 達成度審査	現場における実行力と 問題解決能力の審査
D	最終 達成度審査	「高い研究力」に加え グローバルリーダーとしての 「現場力」「分野横断力」「魅せ方力」

### 必修の専門科目(演習・実習)

1	エンパワーメント プロジェクト研究	チームワークを通じ、 プロジェクト型研究を実施
2	アドバンスト チュートリアル演習	学生主体によるディベート形式演習
3	リサーチデザイン演習	<b>魅せ方力</b> 異分野複合指導体制による研究計画 立案、プレゼンテーションの実践指導
4	エンジニアリング レジデンス実習	<b>現場力</b> 学生が国内外の企業等に滞在し、プロ ジェクトリーダーとして研究開発を行う
5	コラボラトリ実習	<b>分野横断力</b> 分野横断チームにより、研究内容の起 業化をめざしたビジネスモデルを作成